

2015-2026

# MS-26 戦略プラン

—開学 100 周年に向けて—

立学の精神：「**穏健中正で実行力に富み、国家、社会の信頼に値する人材を育成する**」

**[大学・高校に関わる全ての人達と共有したい価値観]**  
**生涯学びを楽しむ・・・「Enjoy Learning for Life」**

**Vision**：多様な経験を通して、学生が大きく羽ばたく「**学びのコミュニティ**」を創り広げる

**Mission**：(教育ミッション) 主体的に学び続ける「**実行力ある教養人**」を育てる

(研究ミッション) 「**学問の探究と理論の応用**」を通して、**成果を教育と社会に還元する**

(社会貢献ミッション) 社会との「**人的交流**」を通して、**地域の活性化に貢献する**

**Key Performance Indicators (KPI)**：学生の大学に対する満足度、学生の学修成果、就職満足度、卒業後の帰属意識、教職員の帰属意識

## 5本の柱 (戦略ドメイン)

基本目標

行動目標

1) 戦略計画  
—成果指標

## 人材の確保と育成

目的意識と行動力と社会性に優れた学生を確保し、ビジョンを実現できる教職員を育成する

1. 優秀な学生の確保

- 1) アドミッションポリシーに基づく学生の確保
  - 志願者数
  - 入試制度改革件数
  - 高大接続プログラム件数
  - 高校生を対象としたコンテスト・イベント等企画件数

2. 優れた教職員の確保と育成

- 1) 高い教育力・研究力を持つ教育職員の確保
  - 採用件数
- 2) 専門性を持つ優れた事務職員の確保
  - 事務職員(専門)採用件数
- 3) 能動的学修を支えるFDの促進
  - 研修件数
- 4) 教職協働事業を支えるSDの促進
  - 研修件数
  - 教職協働で開発した教育プログラム件数

## 教育の充実

多様性と実践性を大事にする基礎教育と専門教育を通して、コミュニケーション力と問題解決力をもつ人材を育成する

1. 学生の多様な経験による主体的な学びの促進

- 1) アクティブ・ラーニング型学修の推進
  - 能動的学修の要素を取り入れた授業数
  - 少人数教育科目比率
  - インターンシップのプログラム開発件数
  - 学生の授業満足度
  - 学生の学修成果
- 2) 多様な専門性に根差したグローバル人材の養成
  - グローバルパスポート登録者数と証明発行数
  - 学生の海外派遣人数
  - 海外の大学との共同プログラム研修数
  - 留学生の国籍の広がり
  - 国際イベント数(学内)
  - 附属高校との連携件数

2. 大学院教育・研究の質保証

- 1) 高度専門職業人養成に向けた教育プログラム開発
  - 産業界等との連携プログラム件数
  - 海外の大学等との共同プログラム件数
  - 課題解決型学修の授業数
  - TA登録者数

3. 学修・課外活動・学生生活支援サービスの充実

- 1) 課外活動における多様な経験の促進
  - 課外教育プログラム開発件数
  - クラブ活動登録者数
  - 学生職員登録者数
  - SA登録者数
- 2) 学修・学生生活に関する支援体制の整備
  - 退学者数
  - 奨学金給付件数
- 3) ICTの活用による学修支援
  - 学生の学修成果

## 研究の充実

研究環境の充実を通して、社会に評価される学術の創造と普及を図り、教育と社会に還元する

1. 独創的研究の推進と研究成果の社会への発信

- 1) 自由な発想に基づく、独創的な研究の推進
  - 外部資金獲得件数
  - 産学官共同研究件数
- 2) 研究成果の積極的な発信
  - 教員情報に基づく論文件数
  - 教員情報に基づくアクセス件数
  - 研究成果発表会件数

2. 国際的な研究拠点の育成と強化

- 1) 国際的研究拠点づくり
  - 拠点件数
  - 国外研究機関等との提携・交流・共同研究件数
  - 国外研究者来学件数

## 社会貢献

地域とともにある大学として、地域の多様なニーズに対応し、人的交流を通して活性化につながるサービスを充実する

1. 地域支援の充実

- 1) 地域と一体となったコミュニティづくり
  - 地域の満足度
  - 地域・企業と連携した教育プログラム件数
  - ボランティアプログラム件数
  - ボランティア参加学生数
  - 地域との連携数・委員等の委嘱件数

2. 社会人の学び直しの機会の提供

- 1) 生涯学習支援プログラムの開発
  - プログラム件数
  - プログラム参加者の満足度
  - 卒業生の参加者数
  - 大学院入学者に占める社会人の割合

## 組織・経営改革

ビジョンの実現に向け、戦略的かつ機動的な組織・経営改革を持続する

1. 組織の活性化

- 1) 社会のニーズを踏まえた大学院・学部・学科の改組
  - 改組・新設件数
- 2) 組織内コミュニケーションの活性化
  - 組織内の情報共有方法の見直し
  - 事務組織の見直し
  - 教職員の帰属意識
- 3) 内部質向上に向けたPDCAサイクルの推進
  - 学部等評価委員会の開催件数

2. ブランド力の向上

- 1) 学内外への広報の積極的展開
  - 学生の学修成果の学外への発信
  - 理念等の学内外の浸透度
- 2) 卒業生及び父母との連携強化
  - 卒業生及び父母との交流・情報発信件数

3. ビジョンの実現を支える基盤整備

- 1) 学生の主体的な学びを支援する環境整備
  - 学生満足度
  - ラーニングコモンズの稼働率
- 2) 財源の多様化の促進
  - 寄附金件数